

平成29年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

刑法

以下の問題④から問題⑩までの4問のうち、3問について解答しなさい。なお、どの問題について解答したのか、きちんと記号を解答用紙に明記すること（明記の無い場合には大幅な減点となる）。

問題④

以下の問題〔(1)、(2)および(3)〕の全てに解答しなさい。

- (1) Xは道を歩いていたところ、急に野犬に襲いかかられたので、慌ててそばに落ちていた木の棒を手にしてその野犬を撲殺した。Xの罪責を検討せよ（ただし特別法違反の点は検討しなくてよい）。
- (2) Aは、10万円相当のどう猛な土佐犬Hを丈夫な鎖につないで飼っていたが、ある時、地震のためにその鎖が外れてしまい、Hが隣家のY宅に入り込み、Yの飼っていたハムスター（2000円相当）をかみ殺そうとした。そこで慌ててやむなくYは、Hをゴルフクラブで殴り殺した。Yの罪責を検討せよ（ただし特別法違反の点は検討しなくてよい）。
- (3) Zは、自宅の前の崖（がけ）が土砂崩れを起こして、そのまま自宅にいたのでは生き埋めになりそうな状況だったので、やむなく、土砂崩れの方向からすれば唯一のとっさの逃げ場所となりそうな隣家のBの住む豪邸に逃げようとして、Bの邸宅との間にあったB所有の生け垣を壊して、Bの邸宅に無断で侵入した。「BがZの破壊行為や侵入行為を嫌って、Zに対して防衛行為をすることは『正当防衛』と評価されるか否か」、「破壊行為や侵入行為が行われた場合に、Zは民法上Bに弁償の義務を負うか、負うならばその根拠条文は何か」という点にも触れつつ、Zの罪責を検討せよ。

問題⑥

Aは怨恨に基づいてCを痛い目にあわせてやりたいと考えたが、力の弱い自分では痛めつけることができないと考えたため、体格のいいBに「あのCは私にこんなひどいことをした悪い人間なんだ、だから殴って痛めつけてやってほしい、報酬も払う」と言って、Bをそそのかした。じつはこのBは重篤な精神疾患により責任無能力の状態にあり、他人の指示をそのまま受け入れるような傾向があったため、Aの指示通り、Cを殴打して負傷させた。しかし、そそのかした際に、AはBを責任能力のある通常人だと思っていた。A、Bの罪責を検討せよ。

問題⑩

以下の問題〔(1)①および(1)②、(2)〕の全てに解答しなさい（なお、犯罪が成立するとする結論を導く場合には、項番号が区別されている犯罪類型については、「○条×項の罪が成立する」と第何条第何項の犯罪が成立するかも、きちんと明確にすること）。

- (1)① Xは、Yをうまく騙すことによって、本来Yが何ら負うはずのない 20 万円分の債務を X に対して負うようにYに勘違いさせ、その債権債務関係の存在についてXY間で合意した。その際にXは、「XがYに対して 20 万円の債権を持つ」旨の債権証書をYに作成させ、XはそれをYから受け取った。Xの罪責を検討せよ（ただし文書偽造の点は検討しなくてよい）。
- ②上記の(1)①の事例において、債権証書を作成したYが、Xのところへ当該債権証書を持参する際に、スリであるZがYから当該債権証書のみを窃取した場合、Zの罪責はどうか。
- (2)Mは、生活費に困ったので、自己名義の銀行口座を売却してお金を得たいと考え、N銀行の窓口で口座開設申込書を作成して提出し、あわせて自らの国民健康保険証およびMと刻印された自己の所有する印鑑を共に銀行窓口へ提出して、銀行口座を開設し、N銀行係員から普通預金口座通帳 1 冊およびキャッシュカード 1 枚を受け取った。しかし、Mは結局として銀行口座を他人に譲渡することなく、そのまま通帳もキャッシュカードも手元に置いたままにした。Mの罪責を検討せよ（ただし特別法違反の点は検討しなくてよい）。

問題⑩

以下の(1)および(2)に解答しなさい。

- (1)文書偽造罪における「有形偽造」および「無形偽造」とは、それぞれどのようなものか？具体的な日本の刑法典の条文を挙げつつ、両者の違いがわかるように、それぞれ「有形偽造」の具体的事例および「無形偽造」の具体的事例も挙げながら、各々の内容を説明しなさい。
- (2)文書偽造罪における「形式主義」および「実質主義」とは、それぞれどのようなものか？この「文書偽造における『形式主義』と『実質主義』の争い」が何についての論争であるのかを明確にしたうえで、両者の違いがわかるように、それぞれの内容を説明しなさい。

以 上